



岳南会ニュース

第23号

発行
平成25年1月1日
長野県野沢北高等学校
TEL 0267 (62) 0020

岳南会
TEL・FAX 0267 (63) 6664

印刷 株式会社久印刷所



惜別そして感謝
岳南会会長
沼田 秀人 (46回)



同窓生の熱き思いに感謝
学校長
青柳 淳 (68回)

時代の変化はめまぐるしく、戦後、営々と築かれてきた日本の経済や社会も、不変ではないということを感じ知らされることが多くなってきております。

そのような状況の中にあっても、歴史と伝統を背景として、野沢北の先輩から後輩への思いには特別なものがあり、この夏には、77回、78回卒業生の記念会があり、11月には58回卒業生の記念会が開催され、後輩たち

頌春

創立百拾貳年の歴史の重さに肌を感じつつ、平成二十五年の新春を迎えました。

自主協賛等、常に変わらぬご協力を頂き、心からお礼を申し上げます。

私こと、一月の定時総会をもって、退任させて頂く事になりました。八十一才の人生の中で、その半生四十年間を、副会長、会長として、携って来ました。その誇りを胸に、後任の役員方が、会の活性化を期待する所大であります。今日まで、支えて頂いた会員諸兄に、心から感謝し、お礼を申し上げます。初参加の総会が、野沢の城山

のために、多大な御寄付をいただいております。また、今年の夏は、特に暑かったわけですが、110周年記念事業の一環として、同窓会に設置していただいた教室の扇風機が十分威力を発揮し、生徒の学力向上に大変役立ちました。同窓生の皆様の熱き思いに、心から感謝申し上げます。

少子化と県の財政難は、高校のあり方に大きな変革を迫っております。現在のゼロ歳児の数をみますと、佐久地域で平成40年まで公立11校・私立2校体制を続けることは不可能です。このままで行きますと、公立高校はすべて1学年4学級以下の学校になってしまいます。関係者の皆様の大変な御尽力により、平成27年4月に佐久新校が発足する予定になっておりますが、

館であった事、四十回の入学式

及び卒業式への参列、第二運動場の設立、九十周年、百周年の式典の開催、殉国慰霊碑と同窓会館の建立、最近では、高校再編での残留、学有林の名義移転登記の完了等、想い出は盡きません。ライフワークとしたものは、略完了し、ほっとしている所です。就任早々の、甲子園出場の大イベントは、忘れる事ができません。これからは岳南会員である事を誇りとして、会を見守ってまいります。

一会の発展そして諸兄のご清栄を祈り、お別れの御挨拶と致します。ありがとうございました。

これだけでは、次の時代に対応する、佐久地区の新しい高校の枠組みが成立したとは言いがたい状況にあります。第2期高校再編、待たなすです。

本校では、同窓会が中高一貫教育研究委員会を発足させ、中高一貫校について研究を進めておられます。佐久地区全体の高校のあり方を検討する中で、中高一貫校のことも位置づけられていかなければならないものと考えております。

そんなことを念頭に置きながらも、学校では、日々若者たちが活発に活動を展開しております。同窓生の皆様の御支援の下に、より魅力的な野沢北高校をめざして、教職員一同一層邁進してまいりたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

総会は、恒例の一月五日、佐久グランド・ホテルにて開催され、冒頭挨拶で沼田秀人会長は、会員の協賛金納入など、日頃の協力に感謝の後、今年を最後の務めとするとして、昭和四十九年、中澤陸次郎第二代会長就任の年に副会長になって以来の四十年に亘る岳南会の歴史を語られ、その着実な歩みを懐古された。

続いて、高見澤正彦校長による挨拶では、百十周年記念に贈られた全教室への扇風機設置及び岳南57回生による吹奏楽班へのティンパニー寄贈への謝辞があり、進学状況及び班活動での成果が紹介された。

議事に入り、報告では、昨年四月の岳南会所有林の名義変更完了と中高一貫教育研究委員会の活動状況が説明された。

議案では、会務報告と計画案及び会計決算と予算案が上程され、総会に先立って行なわれた代議員会議での議決に基づき、例年通りの内容で承認された。

記念講演は、昨秋、日本藝術院会員に選任された山本文彦氏(岳南51回生)によって、演題「私の幻想絵画について」、自らの絵画遍歴と各時期の自作解説がパワーポイントを活用して具体的になされ、好評を得た。

この後、母校吹奏楽班による演奏を聴き、百五十余名参加で盛会の新年懇親会で交歓した。

(副会長 高見澤俊雄 51回)

支部だより

桜井支部

六月十七日(日)午後六時より恒例の中桜井公会場で定期支部総会を開催しました。桜井支部の総会出席者数が毎年トップクラスなのは、会員の皆さんが歩いて十分以内というこの会場の利便性にもあると思います。

田中照久先生より母校の最近の様子を要点的に分かり易く説明して頂きました。続いて白田宙治郎支部長から、昨年六月以来の二回の代議員会報告と本年度桜井支部からの北高入学者の紹介がありました。

桜井支部では、会員の発表を総会の目玉の一つに据えています。桜井の歴史、風土、生活、文化・伝統などがテーマになりますが、本年度は「石臼に学ぶ」を桜井に水車の復活を目指してと題して、考古学に深い造詣をお持ちの六十六回卒業生の白田武正氏が発表されました。

幼少の頃に近所で見えた水車が忘れ難い農村の原風景として強烈に目に焼き付いたとのこと。石臼の日本への伝来に始まり桜井における石臼利用の実際、石臼と水車との結びつきなどを興味深く話して頂きました。自然エネルギーを利用したスローライフの実現を目指して水車の復活を今後のライフワークにしたという熱い語りに、水車のあ

岳南ネットワーク

記憶に残る言葉雑感

長野県総務部長 岩崎 弘 (68回)

野沢北高校で過ごした私の3年間はまったく長閑で、背伸びをするでもなく、流れに抗うでもなく、ゆりかごの中にいる様な期間だったと感じています。それでも多くの先生方と接する中で、授業や教科にかかわること以外にもたくさんの言葉をいただいた記憶があります。当時の先生方の年齢を超える今になって、ふと「先生がなぜ、高校生にあんなことを言ったのかな。」と思うことがあります。

国語の宮沢文四郎先生は「馬のような口を開けて笑う」と他人を揶揄しながら自らも前歯を見せて大きく笑う先生でした。ある日の授業で、「君たち北高の生徒はこの地域のエリートである。その自覚を持って励まなければいけない。」、一方で「この地は周囲に競い合うものがない。」



また、「視野を広く持つて、目先のことだけでなく世の中の動きを見るよ。」と。もし例をあげるなら、「中込学校は郷土の先達が後輩たちのために学校まで造って、その太鼓楼に佐久から見た世界地図まで描いているよ。」と言いたかったのかも知れません。化学の塙先生は少々女性的なお姿で優しく話されるカメラ好きの

風景を知る参会の先輩諸氏からは応援の声が多く寄せられました。

いよいよお待ちかねの懇親会です。千五百円の会費で十分に飲んで食べて語れるよう工夫しています。参会の皆さんが率先して会場づくりや酒の爛など手伝ってくれます。宴は延々と十時近くまで続きます。後片付けも皆でやります。このような絆がある限り、当支部は存続・発展していくと思います。

四十三回卒業生を頭に、九十六回生まで、実に三世代に渡る会員の和氣藹々の様子を映像でお見せできないのが残念です。(副支部長 金森輝雄 60回)

総会のご案内

平成25年度 期日 一月五日(土) 午後一時開会

場所 佐久グランドホテル 階 (佐久市中込三一九一)

議事 会務・会計決算・予算 役員改選 他

記念行事 演題「変わる世界と日本の選択」 大塚 隆一氏 (69回卒)

(第一部) プラスバンド演奏 (販売新聞 編集委員)

野沢北高校吹奏楽班 (懇親会 (一六時三十分)) 懇親会費 5000円

77回生卒業30周年記念同窓会

8月12日(日) 我々77回生の卒業30周年記念同窓会が佐久グランドホテルで開催されました。

卒業以来、ほとんど同窓会らしきものをしていないクラスも多く、最初はなかなか人数が集まらず心配しましたが、最終的には来賓の沼田岳南会長、青柳学校長、また恩師の旧3組担任の木村先生、5組担任の大池先生を含め、55名の参加を得て無事、同窓会を開催することが出来ました。また、記念事業としては過去2年間の流れに従い、来年度入学の生徒用の下足入れ1学年分を寄贈することとなりました。この場を借りて賛助金へのご協力をいただいた77回卒の同窓生の皆さんに感謝を申し上げます。

78回生卒業30周年記念同窓会

8月11日(日) 我々78回生の卒業30周年記念同窓会が佐久グランドホテルで開催されました。

私達は22年の岳南会総会で同期の小泉修一君が記念講演をしたことを機に委員会を立上げ、三年越しで準備を進めてきました。その甲斐あってか、会場のあちこちで30年ぶりの再会に歓声があがり、恩師を囲んで思い出話や近況報告に花が咲いて楽しいひと時を過ごすことができました。また同窓会に先立ち母校見学会も行いました。参加者それぞれが昔を懐かしむ姿が印象的でした。急遽準備した二次会には80名以上が参加。会場から提案のあった1年後の「人生50周年記念同窓会」での再会を誓い合いました。

関西岳南会 25年度総会のご案内
日時 2013年4月13日(土) 午後4時~
会場 大阪弥生会館 大阪市北区芝田2-4-53 Tel 06-6373-1841
第一部(午後4時~) 総会
第二部(午後4時半~7時) 講演会・懇親会
懇親会費 5,000円
連絡先 関西岳南会事務局 中井良策 090-4515-0770

東京岳南会 第52回総会のご案内
日時 2013年6月8日(土) 午後2時~
会場 日本教育会館・喜山倶楽部 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 Tel 03-3262-7661
第一部(午後2時~) 総会・ミニ講演会
第二部(午後3時~5時) 懇親会
会費 7,000円(懇親会費・通信費など) 2,000円(学生)
当番幹事 75回(昭和54年卒) 85回(昭和64年卒) 95回(平成11年卒) 105回(平成21年卒)
連絡先 東京岳南会幹事長 小井戸大介 03-5651-3300 090-5442-0633



77回生卒業30周年記念同窓会
8月12日(日) 我々77回生の卒業30周年記念同窓会が佐久グランドホテルで開催されました。卒業以来、ほとんど同窓会らしきものをしていないクラスも多く、最初はなかなか人数が集まらず心配しましたが、最終的には来賓の沼田岳南会長、青柳学校長、また恩師の旧3組担任の木村先生、5組担任の大池先生を含め、55名の参加を得て無事、同窓会を開催することが出来ました。また、記念事業としては過去2年間の流れに従い、来年度入学の生徒用の下足入れ1学年分を寄贈することとなりました。この場を借りて賛助金へのご協力をいただいた77回卒の同窓生の皆さんに感謝を申し上げます。



78回生卒業30周年記念同窓会
8月11日(日) 我々78回生の卒業30周年記念同窓会が佐久グランドホテルで開催されました。私達は22年の岳南会総会で同期の小泉修一君が記念講演をしたことを機に委員会を立上げ、三年越しで準備を進めてきました。その甲斐あってか、会場のあちこちで30年ぶりの再会に歓声があがり、恩師を囲んで思い出話や近況報告に花が咲いて楽しいひと時を過ごすことができました。また同窓会に先立ち母校見学会も行いました。参加者それぞれが昔を懐かしむ姿が印象的でした。急遽準備した二次会には80名以上が参加。会場から提案のあった1年後の「人生50周年記念同窓会」での再会を誓い合いました。



先生でした。「君たちは派閥なんでしょう作ってはならない。」という言葉が記憶に残っています。これも「公平な目で物事を判断せよ。」「単純な仲間意識でなく本当に支え合えるような仲間になれ。」という教えだったのだと思っています。現役を引く年代になって思い返すと、卒業からこれまで折々にこうした言葉がよみがえって、状況に応じた励ましになっていったように思います。翻って自分を省みると、他人が何かを感じ取ってくれるような言葉を持っているとは言えず、来し方に恥じ入るばかりです。これからそんな考えが身に付くわけではあ

りませんが、多少でも母校の後輩たちのお役に立てればと思う。今日この頃です。

剣道班 OB 会にて

あの頃の思い出

高校野球に

教えられたこと



長野県弁護士会副会長 大井 基弘 (85回)

「おえー……」全力の大声で先輩に挨拶する。そんな慣習、今はもうないのだろうか。
私は、当時の北校野球班の班長で、全国高校野球選手権長野大会という第70回記念大会時の主将ということになる。現在は、佐久市岩村田で弁護士をやっており、今年は長野県弁護士会の副会長を務めている。

この度、「あの頃の思い出」を寄稿して欲しいと当時の剣道班班長の小林嘉孝君（現野沢北校教員）に頼まれ、当時のことを思い出しながら書いてみると、自分がキャプテンをやっていた高校3年の時よりも、高校1年時の下積み時代の思い出のほうが圧倒的に蘇ってくる。
現在、北校野球班は野球専用グラウンドで練習をしているが、

我々の頃は校庭が練習場所だった。グラウンドは固くなりやすい土質で、毎日早朝のグラウンド整備が1年部員の最も重要な仕事だった。始業前に1時間〜2時間かけてグラウンドを一旦掘り起こす。「ガリ」と呼ばれる5寸釘を何本も打ち込んだ巨大な剣山のような大きな板に縄がかけられた整備器具を、ひとりが縄を引っ張り、ひとりが雑巾がけのような格好で押さえ付けて校庭の土を起す。聖なる儀式さながら、グラウンド整備の服装は学生服で行わなければならない。整備が終わるころには、裾も袖も顔も朝から砂埃だらけだ。お昼には、炎天下で弁当を5分位で食べて、朝にガリで起こしておいたグラウンドをトンボでならす。もし、イレギュラーでもあれば1年生の責任だ。授業中に、擦り切れたボールを縫い直すボール縫いをやったこともあった。夏休み中の炎天下での百本ノック、本気で「このままでと本当に死ぬ」と思ったのは人生での時が初めてだ。練習終わりのノックで数人エラーが続いた時に、全員でグラウンド50周を命ぜられ、真つ暗闇の中で50周走り続けたこともあった。ちなみに、本文冒頭の挨拶は、当時の野球班の伝統で、いわば度胸付けの儀式だ。同期の小林常二は、そのルールの適用除外場所である小諸駅のホームでこれを持って、ラッシュ時の乗客全員から驚愕の注目を浴びた(笑)。

そんな下積み時代を終え、やっと3年生になれたと思ったら、校舍増設のために校庭が約半分にな

フリーバッティングも外野ノックもまともにできなかった。その後すぐに野球専用のグラウンドができたものだから、そつちを先に作ってから校舎を増設すればよかったのに、と卒業後も恨みがましく思ったものだ。最後の大会で負けた時は、自分が人前で泣くなどとは思ってもしなかったが涙が止まらなかった。後悔と言えは、結果の後悔よりも、3年時の恵まれない練習環境もあって、「最後まで思い切り野球をやった」という気持ちになれなかったことかもしれない。

しかし、何だかんだ言って、高校野球に全てをかけていたことに後悔は全くない。我々の同期は7人しかいなかったから、下積み時代の大変さは尚更で、今でも同期の連中と会えば、下積み時代の話が大半だ。労苦を共にした仲間、別にメールや電話を頻繁にするような仲良しグループではないが、普段連絡などどっていても、たまに集まって飲めば、会っていなかった時間など全く感じさせない。3年間一緒に戦地でも暮らしてきたような連中だ。

今思うと、高校野球は、ちょっと早めの社会経験のようなものだったと思う。試合では、チームプレーとはいえないながらも打席に入れば誰が助けてくれるというわけでもなく、自分の責任で仕事を果たすしかない。頑張っても頑張っても報われないこともあるし、全てをかけても叶わない夢もある。一見意味もないような理不尽な苦勞を強いられることもある。

戦没者慰霊祭

二十五年六月二日(日) (毎年六月第一日曜日)
午前十一時より
貞祥寺本堂にて(自由参加)

* 同窓戦没者を追悼し、恒久平和を祈願しましょう。
* 法要後、有志にて昼食懇話会を行います。(会費千円)
護持会会長 井出 公陽



58回卒「太伯会」卒業50周年記念式典

第58回卒業同窓生「太伯会」は卒業50周年を記念し、母校に「大体育館及び小体育館にそれぞれ暗幕一式」「生物顕微鏡10台」を寄贈しました。

平成24年11月3日(土) 佐久市内「佐久グランドホテル」於ける記念式典には、来賓として沼田岳南会長、青柳学校長、新

海教頭、渡辺事務長をお迎えし、同窓会員63名出席の下、中田会長より青柳学校長に目録の贈呈が行われました。
第58回卒業同窓生は去る昭和58年、同窓会名を第二応援歌の一節より「太伯会」とし、これまで不定期に親睦会を開催してきました。平成24年1月に開催された新年会の席上、会長は「卒業50周年記念事業」の発案を示し、同年3月より各クラス代表幹事による企画案の具体化が進められ、当日の式典を迎えるに至りました。
式典後北高吹奏楽班によるアトラクションがあり、懇親会では沼田岳南会長のお話に母校の歴史を胸に刻



「太伯会」2012年11月3日 於 佐久グランドホテル



中澤高千夫 遺作展

八月十一日〜十六日に野沢会館にて中澤高千夫さん(50回)の遺作展が開かれました。中澤さんは本校を卒業後、東京芸術大学・同大学院で油絵を学び、その後ニューヨークにて抽象画を中心に創作活動をされました。9・11のテロをきっかけに02年に帰国し、佐久市内にて郷里の風景画を描きながら、デッサン・絵画教室を主宰されました。11年2月に急逝された中澤さんを偲んで、本校美術班の同級生の山浦時夫さんが中心



中澤高千夫 (寄贈者 中澤静夫人) 「パターン化された動き」黄

になって今回の遺作展が企画されました。初日の十一日より多くの人が訪れ、中澤さんの創作の中心である抽象画、若いころに描いた佐久の風景画などを熱心に鑑賞していました。静夫人は「本人が一生をかけた仕事を皆さんに見ていただく機会をもててうれしい。多くの方、特に若い世代の抽象画理解のきっかけになればと思います。」と話されていました。
野沢会館では同期間に例年どおり岳澄展も開催されこちらも100点を超える作品が出品され賑わっていました。
11月、中澤さんの代表作『パターン化された動き』黄は静夫人により本校に寄贈され、現在岳南会館ホールに展示してあります。(事務局)

それでも、きっと何かの役には立っている。
高校時代は野球ばかりで勉強などする時間もなかったが、一年浪人して気合いで勉強して大学に入り、過酷な司法試験に何度もチャレンジし最後には気合いで合格した。その気合いも粘りも、高校野球で培ったものだ。
高校1年の秋季大会で、怪我の先輩に代わり佐久長聖高校戦(当時は佐久高校。結果は北校のコールド勝ち。)にスタメンで出場したときの緊張感、弁護士になつてからの初法廷の緊張感に勝るものがある。



以上

還暦記念祝賀会開催

第66回卒業(昭和45年) 2組の還暦記念祝賀会が本年4月21日軽井沢プリンスホテルにおいて恩師の奥様を来賓に迎え27名の参加により賑やかに開催されました。当日は校歌に続いて、修学旅行の歌で当時にタイムスリップしたりアイデアの近況報告あり、いやまだまだ下り坂ではないぞ!といった元気の良い言葉も聞かれ二次会ま



で夜の更けるのも忘れて語り合いました。翌日はゴルフ組と蕎麦打ち体験組に別れそれぞれ良い思い出になりました。
これに合わせて160ページに及ぶ記念文集「よたもんたちの還暦」も完成し当日全員に配布されました。この企画は1年半前より編集委員会を立ち上げ、数回の打ち合わせを経てギリギリ完成。50名の卒業生の内、健在の者・物故者に対する思い出を含め37名が原稿を寄せ立派な文集になりました。
また、印刷は69回卒業の青木印刷様にご協力をいただきました。次は10年後に担当はK君でと非公的な決定をし、毎年開催される同級会での再会を楽しみにそれまではお互いに元気で頑張ろうと約束し散会となりました。
還暦記念実行委員会



母校近況

400mリレー
磯田・油井・野中・井上 予選敗退

800mリレー
磯田・野中・油井・井上 予選敗退

400mメドレーリレー
野中・高見澤・磯田・井上 予選敗退

7/20～7/22
100m平泳ぎ
磯田涼太 1:05.45 5位

200m平泳ぎ
磯田涼太 2:22.87 8位

女子
県高校総体
100m自由形
寺西里紗 予選敗退

100m背泳ぎ
寺西里紗 予選敗退

●空手道
県高校総体
男子個人組手
岡部航大 1回戦敗退

男子個人形
岡部航大 1回戦敗退

女子団体組手
松商学園 0対5 1回戦敗退

女子個人組手
小林理奈 1回戦敗退

松本幸華 1回戦敗退

勝俣啓香 1回戦敗退

女子個人形
小林理奈 0対5 1回戦敗退

●山岳
県高校総体 男子登山競技 敗退

文化班

●将棋
県大会
男子
団体戦 松本深志 2対1 3位

個人戦 井出洋成 ベスト16

女子
団体戦 岩村田 1対2 3位

個人戦 武居優芽 3位

大井遥香 5位

殿岡新菜 5位

渡邊歩乃佳 5位

●囲碁
県大会
男子 個人戦 関拓也 4位

●バレーボール
男子
県高校総体
vs飯田工業 0-2 敗退 1回戦敗退

女子
県高校総体
vs阿智 0-2 敗退 1回戦敗退

●ハンドボール
男子
県高校総体
vs諏訪清陵 27-22 勝利

vs坂城 22-40 敗退

ベスト8

女子
県高校総体
vs木曾青峰 36-9 勝利

vs屋代 20-12 勝利

vs長野南 21-22 敗退

準優勝

●卓球
県高校総体
男子団体
vs大町 3-0 勝利

vs長野高専 3-1 勝利

vs松商学園 0-3 敗退

5位

男子ダブルス
原佳史・柳沢和宏 初戦敗退

男子シングルス
佐々木信悟 2回戦敗退

原佳史 2回戦敗退

柳沢和宏 2回戦敗退

女子ダブルス
大森美暉・風間咲希 初戦敗退

●バドミントン
県高校総体
男子団体戦
vs松本深志 2-3 2回戦敗退

男子ダブルス
上原・赤羽根組 1-2 1回戦敗退

男子シングルス
上原 1-2 1回戦敗退

赤羽根 1-2 1回戦敗退

●弓道
県高校総体
男子団体戦 21中(40射) 予選敗退

男子個人戦
重田 貴行 5中(8射)

女子団体戦 13中(40射) 予選敗退

●水泳
男子
県高校総体
100m平泳ぎ
磯田涼太 1:07.06 1位

100m平泳ぎ
高見澤 光 予選落ち

200m平泳ぎ
磯田涼太 2:22.90 2位

200m個人メドレー
井上 峻 予選敗退

400m個人メドレー
井上 峻 予選敗退

クラブ活動報告 (主な結果のみ)

運動班

●野球
春季大会
vs上田千曲 7対9 1回戦敗退

選手権大会
vs飯山 1対5 2回戦敗退

●陸上
男子
県高校総体
110H、400H 小林 涼 2位、3位

5000、3000sc 上原聡太 7位

北信越大会
110H 小林 涼 予15*54 準15*53

女子
県高校総体
やり投げ 高野希恵 37m93 5位

走高飛 山我杏寿実 1m53 3位

駅伝 2時間30分25秒 25位

北信越大会
400H 予57*12

やり投げ 高野希恵 32m10

走高飛 山我杏寿実 1m55 9位

●剣道
県高校総体
男子団体 予選リーグ 敗退

女子団体 予選リーグ 敗退

女子個人 由井 沙季 1回戦敗退

●ソフトテニス
県高校総体
男子団体戦 vs長野日大 2-1

vs上伊那農業 0-2

ベスト16

男子個人戦
柳澤・依田 1回戦敗退

女子個人戦
村上茜・須田桐可 3-4 1回戦敗退

磯貝美穂・市川はづき 0-4 1回戦敗退

●テニス
県高校総体
男子ダブルス
高橋竜平・山口大輔 2-6 1回戦敗退

●バスケット
男子
県高校総体
vs駒ヶ根工業 80-46 勝利

vs松商学園 64-54 勝利

vs長野吉田 58-95 敗退

ベスト8

女子
県高校総体
vs長野南 50-60 敗退

岳南会中高一貫教育研究委員会 経過報告

この国の中等教育に於て中高一貫教育の潮流は強く、児童生徒の進路保障の中核を成している。

本県においても、少子化による県教委の第一期高校再編計画の中で、公立高校に於ける中高一貫教育が具現化され、平成二十四、屋代高校付属中学校は既に新入生を迎え、平成二十六年には諏訪清陵高校付属中学校も開校する。共に、東北信及び中南信地区におけるモデル校であり、平成二十五年以降に策定予定の第二期高校再編計画の中では、東信及び中信にも設置が予想されている。

このような状況の中で、平成二十一年十一月、本委員会が設置されてから三年、十五回の会議を重ねてきた。この中で特筆

すべきは、平成二十三年十二月、本委員会として、母校校長に要望書を提出、母校における中高一貫教育について、県教委の第二期高校再編計画の策定に向け、時宜を失うことのないよう積極的かつ継続的な研究を進めてほしい旨、お願いした。また、併せて、この制度を導入する場合の主体者として、研究から検討に向けての進捗が追々図られるようお願いし、そのための協力は惜しまない旨、お伝えした。

このように、本委員会は、設置当初から、母校将来構想委員会と連携を密にし、研究を重ねてきたが、この一月、開校九ヶ月の屋代高校付属中学校を合同で視察し、研究を進めることにしている。

(副会長 高見澤俊雄 51回)



平成24年 会務報告(岳南会総会1月5日以降、事務局把握分)

1月5日(休)	第1回三役会・第1回代議員会 平成24年岳南会総会・佐久グランドホテル・参加者約170名・記念講演(私の幻想絵画について)(51回卒)	19日(休)	P T A三役会で内規に従い岳南塾費決算報告の承認を得た。	25日(休)	第2回代議員会開催
18日(休)	長野支部総会開催・参加者79名 会長・事務局出席	20日(休)	佐久町支部総会開催・参加者20名・高見澤副会長・事務局出席	9月26日(休)	第1回役員改選選考委員会
29日(日)	中込支部総会開催・参加者22名 会長・事務局出席	27日(金)	第12回中高一貫教育研究会開催	10月1日(休)	第14回中高一貫教育研究会開催
2月25日(土)	南牧支部総会	5月21日(月)	第2回三役会・学校所有林視察	30日(火)	第2回役員改選選考委員会
3月5日(土)	野沢北高校卒業式が挙行され会長・副会長3名が出席	6月2日(日)	①御代田支部総会開催・参加者11名・高見澤副会長・教頭出席	11月3日(土)	58回卒「卒業50周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催・会長、校長、教頭、事務局長来賓として出席
10日(土)	白田町支部総会開催・参加者15名 事務局出席	3日(日)	②小諸支部総会開催・参加者20名・会長、校長出席	10日(土)	東支部総会開催・参加者16名・事務局出席
19日(月)	芸術科(同窓会事務局)薄井稔久先生(69回卒)療養休暇に入り高村和寛先生着任	9日(土)	第12回戦没者慰霊追悼式・約30名参列・会長・3名の副会長・校長参列	21日(休)	第15回中高一貫教育研究会開催
20日(金)	第11回中高一貫教育研究会開催	6月22日(金)	東京岳南会開催・会場は日本教育会館で実施・会長、校長、卒業生、事務局出席・新会員3名・会員104名参加	12月1日(土)	野沢支部代表者会・同窓職員中田先生出席
22日(休)	野沢北高教職員送別会が行われ会長・副会長3名が出席	17日(日)	前山支部総会開催・参加者14名・事務局出席	4日(火)	岳南会会計監査実施
30日(金)	八千穂支部総会	30日(土)	桜井支部総会開催・参加者25名・事務局出席	12日(休)	第3回三役会開催
4月4日(休)	野沢北高入学式・会長・副会長3名が出席	7月8日(日)	岸野支部総会開催・参加者16名・同窓職員金子先生出席	17日(月)	岳南会ニュース23号発送(協力金依頼)
8日(日)	①小海町支部総会開催・参加者10名会長・校長・事務局出席	20日(金)	音楽科保科千夏先生産休入り伊藤渚先生着任		
	②関西同窓会開催(岳南会・鈴蘭会共同開催)	8月11日(土)	第13回中高一貫教育研究会開催		
	大阪弥生会館、輪番で本年度は南高が担当でした。	12日(日)	78回卒「卒業30周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催・会長、校長来賓として出席		
11日(休)	野沢北高教職員歓迎会開催・会長・副会長3名出席		77回卒「卒業30周年記念同窓会」佐久グランドホテルにて開催・会長、校長来賓として出席		

平成24年 岳南会会計決算書

平成23.12.1～24.11.30

収入総額 8,965,095円 支出総額 5,738,024円 差引残高 3,227,071円

【収入の部】		
項目	収入決算	備考
入会金	1,452,000	6,000円×242人(入学生)
卒業生終身会費	1,205,000	5,000円×241人(H24年3月卒業生)
総会費	520,000	5,000円×104人
代議員会費	9,000	三役会(2,000円×4人) 会議不参加分返金
岳南会館維持管理費	542,250	750円×723人
岳南会活動協力金	1,882,500	1,000円(1口) × 2,066.5口
繰越金	2,763,985	
雑収入	590,360	預金利子、百年史・名簿代金等
合計	8,965,095	

以上、相違ありません。
平成24年12月4日
会計監査 竹内 健 ㊟
白田善和 ㊟
白井正幸 ㊟

【支出の部】		
項目	支出決算	備考
会報発行費	1,669,585	会報印刷費、封筒、郵送料、会報編集料等
総会費	891,940	会場費、懇親会費、講師謝礼等
会議費	286,173	役員会、代議員会、会計監査等
支部会議費	335,840	祝儀、旅費等
慶弔費	450,878	餞別、香典、卒業証書筒、校章バッジ、花束代
財産管理費	56,226	固定資産税、山林管理等
クラブ等後援費	484,635	全国大会補助、広告料等
進路指導補助費	200,000	
岳南塾補助	500,000	
会館維持費	790,332	会館電気料、会館電話料、会館修理費等
事務費	72,415	会館雑貨、事務用品、ハガキ、封筒、切手等
予備費	0	
合計	5,738,024	

紙面の都合で、平成25年岳南会会計予算案は割愛させていただきました。

進路指導室から

平成二十四年三月の、大学等合格者数は表の通りです。

◎センター試験大幅変更

二〇二二年度大学入試センターは、「地理歴史・公民」等の実施方法で大きな変更がありました。本校受験生にはそれほど大きな混乱は生じませんでした。しかし、第一解答科目、第

二解答科目の選定など受験前に今までにない細かな対応を迫られました。

◎卒業生概況

卒業生二四一名中二三七名がセンター試験に受験し受検しました。卒業生は、国公立と私立大学におよそ三分の一ずつ進学しました。この割合は、ここ四年間だいたい同じです。また、浪人は四分の一です。景気の影響があるのかもしれませんが、こ

五年間では一番割合が少なくなっています。学部系統では、教員養成系と「医・歯・薬・保健」の医療系など資格系統に人気が高まっています。

◎キャリア教育と同窓会

今年度も一年生は、キャリア教育の一環として職業観の育成を目的に十一月に同窓生を中心に九名の方に進路講話をお願いしました。また、夏休み明けには一・二年生対象に大学一年生

による進路講話を実施しました。同窓生の方からのメッセージを活かして、一人ひとりの進路が実現できるよう学校全体で進路指導をして参りたいと考えています。

同窓生のみなさまの、母校への温かいご理解と御援助に感謝を致すと共に、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

進路指導主事

金子房夫 (74回)

大学合格状況 (2012.4.2 現在)

卒業生数	国公立大学	私立大学	外国大学	大学計	公立短大	私立短大	短大計	各種/専修	総計
241	現 90	241	0	331	3	4	7	7	345
	浪 48	167	0	215	1	0	1	0	217
	計 138	408	0	546	4	4	8	7	562

国立大学合格者数

大学名	現	過	計
弘前	2		2
東北	5	5	10
山形	1		1
茨城	4		4
筑波	2	3	5
宇都宮		1	1
群馬	6		6
埼玉	2	2	4
千葉	2	2	4
電気通信	1	1	2
東京		1	1
東京外語	1		1
東京海洋		2	2
東京学芸	1		1
東京農工		1	1
横浜国立	3	1	4
上越	2		2
新潟	6	6	12
富山	3	1	4
金沢	5	2	7
山梨	2		2
信州	20	6	26
(教育)	7	1	8
(経済)	1	1	2
(理)	1	2	3
(医)	4	1	5
(工)	4		4
(繊維)	3	1	4
静岡	1	1	2
名古屋		1	1
愛知		1	1
滋賀		1	1
鳥取		1	1
広島		1	1

公立大学/準大学合格者数

大学名	現	過	計
秋田県立	1		1
群馬県女子	2		2
高崎経済	5	2	7
首都大東京	1	2	3
横浜市立	2		2
新潟県立	1		1
新潟県立看護	3		3
都留文科	1	2	3
山梨県立	2		2
静岡文化芸術	1		1
名古屋市立	1		1
京都府立	1		1
鳥根県立		1	1
水産大学校		1	1

公立短大合格者数

大学名	現	過	計
川崎市短大		1	1
大月短大	2		2
長野県短大	1		1

私立大学合格者数

大学名	現	過	計
法政	12	11	23
中央	9	12	21
日本文学	3	13	16
東海	10	5	15
明治	5	10	15
立教	6	8	14
立命館	8	5	13
文京	6	7	13
駒澤	8	4	12
東京理	5	7	12
佐久	10	1	11
早稲田	3	8	11
東洋	2	8	10
新潟医療	8	1	9
獨協	4	5	9
工学院	8		8
青山学院	6	2	8
芝浦工業	6	2	8
帝京	7		7
北里	3	4	7
東京電機	5	1	6
明星	5	1	6
明治学院	5	1	6
龍谷	3	3	6
高崎健康	5		5
大妻女子	5		5
神奈川	4	1	5
武蔵野美術	4		4
中京	4		4
國學院	3	1	4
津田塾	3	1	4
武蔵	3	1	4
杏林	2	2	4
慶応義塾	1	3	4
金沢工業		4	4
東京家政	3		3
大東文化	2	1	3
近畿	2	1	3
国際医療	1	2	3
麻布	1	2	3
関西学院	1	2	3
成城		3	3
同志社		3	3
帝京平	2		2
桜美林	2		2
明治薬科	2		2
清泉女学	2		2
長野	2		2
共立女子	1	1	2
上智	1	1	2
東京女子	1	1	2
東邦	1	1	2
専修		2	2
長浜バイオ		2	2
東北芸術	1		1

群馬バース	1		1
群馬医療福祉	1		1
上武	1		1
東京福祉	1		1
城西	1		1
女子栄養	1		1
東都医療	1		1
日本保健医療	1		1
神田外語	1		1
城西国際	1		1
明海	1		1
了徳寺	1		1
和洋女子	1		1
学習院	1		1
国士	1		1
昭和	1		1
清泉女子	1		1
聖心	1		1
多摩美術	1		1
帝京科学	1		1
東京有明医療	1		1
東京経済	1		1
東京都市	1		1
東京農業	1		1
二松学舎	1		1
日本医療科学	1		1
立正	1		1
日本映画	1		1
諏訪東京理科	1		1
岐阜医療	1		1
東海学院	1		1
名古屋学芸	1		1
四日市看護医療	1		1
京都女子	1		1
関西	1		1
国際武道		1	1
国立音楽		1	1
順天堂		1	1
成蹊		1	1
創価		1	1
多摩		1	1
東京薬科		1	1
星薬科		1	1
武蔵野		1	1
鎌倉女子		1	1
新潟薬科		1	1
岐阜聖徳学園		1	1
名城		1	1

私立短大合格者数

青山学院女子短大	2		2
共立女子短大	2		2

専門学校合格者数

医療系	4		4
その他	3		3

編集後記

「岳南会ニュース23号」を会員のみなさまにお届けできるところをうれしく思います。本年度新たに母校に赴任して参りまして、「岳南会ニュース」の担当になりました。不慣れな中で多くのみなさんに無理を言ってお原稿寄稿をお願いしました。快く引き受けていただいた方々に心より感謝申し上げます。これを手にとっていただいた方々それぞれが、自らの高校生活に思いをはせながら現在の野沢北高と岳南会の活動に関心を持っていただけるといいなと思っております。さらなる紙面の充実に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので様々なご意見をお寄せ下さいます。

(K)

